

# 行政視察報告書

会派) みんなの未来 平成30年 6月27日(水) 13:30~15:30

視察先  
及び  
調査事項

山口県  
下関市

1. 新庁舎建設事業の経過について

## 1. 下関市の概要について

- ・下関市は、H17/2に1市(旧下関市)4町の対等合併により誕生。人口約27万人(当市約24万人)、面積約716km<sup>2</sup>(当市約978km<sup>2</sup>)で山口県最大の都市であり唯一の中核市として県勢発展に寄与している。
- ・本州の最西端に位置し、三方を海に開かれ良港を有し、陸海交通の結節点としてまた、わが国屈指の港湾水産都市として発展して来た。
- ・議員現員数は34人(条例定数34人)で女性議員は4人、平均年齢は59.7歳、事務局現員数は15人(非常勤職員+2)、H24/4に議会基本条例及び政治倫理条例が制定された。

## 2. 新庁舎建設事業の経過について

### (1) 合併以前の検討経過

- ・S63/11庁内に「庁舎整備検討委員会」を設置し、旧下関市として検討をスタート。(本庁舎はS30に建設)
- ・H15/8から始まった新市の合併協議において新事務所(市庁舎)の「位置」や建設時期の目途づけが行われ、H16/4の合併協議会にて確認。

### (2) 新「下関市」誕生後の経過

- ・H17/2新設合併により新「下関市」が誕生し、新庁舎建設の具体的候補地や庁舎問題全体の検討を進め、新庁舎建設に関わる「住民投票条例」の提案(議会否決)や「住民アンケート」(実施)が行われ、H20/9新下関区域に新庁舎の移転、新築方針を決定。
- ・H21/3現職不出馬を受け行われた市長選挙(3人立候補)において、唯一の「移転・新築反対候補者」が当選し、新庁舎建設計画を凍結。
- ・新市長のもと、全員協議会、新庁舎建設調査特別委員会及び総務委員会との連合審査会等の協議を経て、H22/3全員協議会に「市庁舎を建て替えない」という基本方針(公約)から、耐震診断結果等を踏まえた新たな庁舎整備の最終的な方向性が報告され確認。

- ・以降、H23/7に「庁舎等整備基本計画」が策定され、H27以降の整備完成を目指す。

### (3) 本庁舎の整備事業の経過

- ・ H28/10 庁舎整備計画に基づき最終段階として、H29/10までを実施設計期間とする本庁舎本館の耐震改修工事に着手。
- ・ H29/3 市長選挙にて本庁舎本館の耐震改修でなく、「解体しコンパクトな新庁舎（耐震改修コストより低価）を建設」とする新市長が当選し、耐震改修工事の見直しに着手。
- ・ H29/6～新たな庁舎整備方針の報告を受け、以降、総務委員会や全員協議会にて事業詳細や進捗を確認しつつ今日に。
- ・ H30年度～既存本庁舎本館の解体、新庁舎建設着手。
- ・ H31年度～新庁舎竣工、新庁舎への移転へ。
- ・ H32年度～仮庁舎（旧議会棟）の解体、市民広場の整備へ。

## 3. 新庁舎建設の概要について（職員により新庁舎の基本設計・実施設計を行う）

### (1) 設計コンセプト

#### ①市民から親しまれ子育て世代を応援する庁舎

- ・ 窓口、相談機能を有する部門の低層階化や子育て支援の総合相談窓口機能の設置など

#### ②市民の利便性の向上を目指した愛される庁舎

- ・ 来庁者にわかりやすく利用しやすい庁舎など

#### ③地球の環境や周辺地域に優しい庁舎

- ・ 省エネ・省資源や憩いの場の提供など

#### ④災害に備えた安全・安心な庁舎

- ・ 災害時においても庁舎機能の継続可能な庁舎など

#### ⑤経済性に優れ、将来の変化に対応できる庁舎

- ・ ライフサイクルコストの低減や組織の変化などに柔軟に対応できる執務室のユニバーサルレイアウト化など

### (2) 建築概要

- ・ 地上5階建て、建築面積 1,173.33 m<sup>2</sup>、延床面積 5,362.42 m<sup>2</sup>、高さ 23.85m
- ・ 事業費 約 22 億円（公共施設等適正管理推進事業債）

【考察】

・ 合併協議確認（H16/4）以降、3代に亘る市長（3回の市長選挙）を経て、漸く今日 H32 年度の最終完成形に着手できた経過は、H32/4 に市長選挙が予定されている当市においても、今後の進め方が非常に重要と考える。

・ 取分け、「国宝松本城との調和」や「創る過程を市民と共有する」とする基本構想に対する具体的な取組み及び丁寧な情報発信・意見聴取に関しては、議会側としてのタイムリーなチェック・アクションが重要と考える。

・ 新庁舎や議会棟の具体的な機能やシステム関連に関しては、今後予定されている特別委員会、議会運営委員会等の視察も含めて対応して行きたい。

～ 以 上 ～（小林弘明 文責）